



ぐるりちきゅうをひとまわり なんぼく 南北アメリカ へん 編

2012年7月発行 富山市立図書館
<http://www.library.toyama.toyama.jp/>



きた 北アメリカ・ちゅうおう 中央アメリカ



アメリカ

とうもろこしおばあさん アメリカ・インディアン みんわ 民話

秋野和子／再話 秋野亥左傘／画 福音館書店

ある日、小さな村に見しらぬおばあさんがたずねてきました。みんなにこころよくむかえられたおばあさんは、お礼に、れい 村人が た 食べたこともないようなおいしいパンを作ってくれます。どうやってインディアンにとうもろこしが つた 伝わったかをおしえてくれます。

[幼児～]

太陽へとぶ矢 インディアンにつたわるおはなし

ジェラルド・マクダーモット／さく じんぐうてるお／やく

ほるぷ出版

むかし、たいようの神は、いのちの力を一本の矢にかえ、だいちにむかってとばしました。いのちの矢をうけたむすめは、男の子をうみました。やがて男の子は、おとうさんをさがしに、でかけていきます。[幼児～]



ちいさいおうち

ばーじにあーりー・ばーとん／ぶんとえ いしいももこ／やく 岩波書店

いなかの おか ずかな丘に、ちいさなおうちがたっていました。やがて、おうちの まえ 前に大きなどうろができ、ちかてつが はし 走りビルがたっていきます。月や星も見えず、ちいさなおうちは、しょんぼりしてしまいます。[小低～]



かもさんおとおり

ロバート・マックロスキー／ぶんとえ わたなべしげお／訳 福音館書店

かものマラードおくさんは、8わの子どもをひきつれて、こうえんへひっこしました。ずらりと1れつにならんで、どうろをわたります。おまわりさんたちが、じどうしゃをとめて、こうつうせいをはじめました。〔小低～〕



大きな森の小さな家

ローラ・インガルス・ワイルダー／作 恩地美保子／訳 ガース・ウィリアムズ／画 福音館書店

100年以上も昔のアメリカ。大きな森の小さな丸太小屋に、ローラの一家が住んでいました。大自然のまっただなか、森で獲物をとらえ、家畜を育て、必要なものをひとつひとつ自分たちの手で作り出す暮らしです。〔小高～〕



カナダ

ムースの大だいこ カナダ・インディアンのおはなし

秋野和子／再話 秋野亥左傘／画 架空社

ふぶきがつづき、村にはたべものがなくなりました。首長たちは、ちえのある老人メディシンマンに助けをもとめます。メディシンマンは、ムースの皮をはった大だいこをうちはじめました。すると、たいこにムースのむれがうつしだされます。〔小低～〕



カラスだんなのおよめとり アラスカ・エスキモーのたのしいお話

チャールズ・ギラム／文 石井桃子／訳 丸木俊／絵 岩波書店

アラスカの自然のなかでくらす鳥やけものたちが、かつやくするお話が9つ入った昔話集です。〔小中～〕

トンボソのおひめさま フランス系カナダ人のたのしいお話

バーボー／文 ホーンヤンスキー／文 石井桃子／訳 アーサー・プライス／絵 岩波書店

3人の王子は、父からひとつの「はち」をゆずりうけました。「はち」をふると、金貨がでるさいふ、兵隊がでてくるラッパ、どこへでも行けるベルトがとびだしました。「トンボソのおひめさま」ほか4編の昔話集。〔小中～〕

赤毛のアン L.M.モンゴメリ／〔著〕 村岡花子／訳 ポプラ社

孤児のアンは、お百姓のマシューとマリラにひきとられました。美しいプリンス・エドワード島の風景も魅力的な本です。〔小高～〕



コスタリカ

ジャングル 松岡達英／作 岩崎書店

コスタリカのジャングルに心ひかれた作者が、めずらしい昆虫や動物、植物などをイラストで紹介します。いのちあふれるジャングルでは、生きものたちがふしぎな世界をきずいています。〔小中～〕



ドミニカ

ひみつの足あと

フーリア・アルバレス／文 ファビアン・ネグリン／絵 神戸万知／訳 岩波書店

シグアパは、海の中でくらす人間そっくりの美しい生き物です。人間とちがうのは、足が後ろむきについていること。そのために、人間たちに足あとをたどられずに住みかが守られてきました。ところが、好奇心^{こころみしん}いっぱいシグアパの女の子が人間に近づき、見つかってしまいます。ドミニカ共和国に伝わるシグアパの話を絵本にしたものです。〔小中～〕

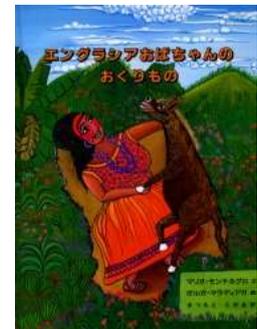


ニカラグア

エンガラシアおばちゃんのおくりもの

マリア・モンテネグロ／文 オルガ・マラディアガ／絵 まつもととおる／訳 福音館書店

エンガラシアおばちゃんは、ロバのけっこんしきのおくりものに、テーブルクロスをつくりました。ヒキガエルやウミガメ、アオサギ、ハチドリなどたくさんのどうぶつたちも、ししゅうをてつだいます。〔幼児～〕



ハイチ

魔法のオレンジの木 ハイチの民話

ダイアン・ウォルクスタイン／採話 清水真砂子／訳 岩波書店

オレンジをぬすみぐいした女の子は、ママ母におどかされにげだします。森の中を走り、生みの親のお墓の前にやってきました。母親に「助けて」とおねがいすると、女の子のスカートからオレンジのたねがころがり落ち、ぐんぐん育ちだしました。ほか 26編。〔小高～〕



メキシコ

ファンが悪魔をつかまえた メキシコの民話

やなぎやけいこ／再話 今井俊／絵 福音館書店

大食いのファンのせいで家がすっかりびんぼうになったので、おかあさんは「悪魔でもつかまえておいで」といいました。ファンは、オオワシにのり、コヨーテにまたがり、悪魔がすむ火をふくほらあなをめざします。〔幼児～〕

うさぎのみみはなぜながい メキシコ民話

北川民次／ぶんとえ 福音館書店

うさぎは、かみさまに、もっと体を大きくしてくださいとおねがいました。かみさまは、トラとワニとサルかわの皮をもってきたら、ねがいをかなえようといひます。うさぎは知恵ちえをはたらかせて、かみさまとのやくそくをまもりますが……。〔小低～〕



みなみ 南アメリカ



エクアドル

特急キト号

ルドウィッヒ・ベーメルマンズ／作 ふしみみさを／訳 PHP研究所

エクアドルの山と海をつなぐ特急キト号。小さな男の子ペドロが、1人でキト号に乗ってしまいます。汽車が、駅のに帰かえってくるのは、4日後です。〔小低～〕



コロンビア

ろばのとしょかん コロンビアでほんとうにあったおはなし

ジャネット・ウィンター／文と絵 福本友美子／訳 集英社

コロンビアのジャングルのおくにすむルイスは、本をよむのが大すきです。本をつぎつぎとかうため、家は本でいっぱい。そこで、ルイスはロバに本をつんで、とおくの村の人びとにとどけることにしました。〔小低～〕

雨あがりのメデジン アルフレッド・ゴメス＝セルダ／作 宇野和美／訳 鈴木出版

コロンビアの貧しい地域に住む少年カミーロ。仕事がない父は、お金もわたさずカミーロにお酒を買ってくるよう言いつけます。カミーロは、新しくできた図書館で本をぬすみ売ることを思いつきました。〔小中～〕



チリ

アンデスの少女ミア 希望や夢のスケッチブック

マイケル・フォアマン／作 長田弘／訳 BL出版

ミアは、大きな町と雪をかぶる山のあいだの小さな村でくらしています。村人たちは、ゴミでつくった家にすみ、がらくたをうってくらしています。ある日、かい犬をさがしにアンデスの山にのぼったミアは、うつくしい花畑が広がっているのを目にします。〔小中～〕



ブラジル

しろいむすめマニ アマゾンのいものはじまり

稲村哲也／再話 アントニオ・ポテイロ／絵 福音館書店

白いはだのむすめマニは、生まれて1年でなくなり、土にうめられました。日でりがつづき村にたべものがなくなったときにマニがあらわれ、木の根っこでパンをつくることをおしえてくれます。〔幼児～〕

ガラシとクルピラ 陣内すま／文 ヴェンペレーラ／絵 福音館書店

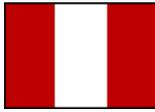
ガラシは、アマゾン川のほとりにすんでいます。ある日、ジャングルで小さなタツ（アルマジロ）をおいかけていたガラシは、動物たちの守り神クルピラにであいました。

〔幼児～〕

夢の彼方への旅 エヴァ・イボットソン／著 三辺律子／訳 偕成社

事故で両親を亡くしたマイアは、親戚のカーター家で暮らすために、家庭教師のミントン先生とブラジルへ旅立ちました。マイアは、ジャングルの珍しい生きものや親切なブラジルの人たちとの暮らしに夢中になっていきます。〔中学～〕





ペルー

マリアとコンドル ペルーの民話

稲村哲也／再話 ハイメ・ロサン／絵 ヘオルヒーナ・デ・ロサン／絵 福音館書店
 家ちくの番をしていたマリアの前に、黒い服と白いマフラーを身につけた若者があらわれました。若者は、マリアを背中にのせるとコンドルに姿をかえてとびたちます。〔幼児～〕



ボリビア

わたしはせいか・ガブリエラ 東郷聖美／さく・え 福音館書店

せいか・ガブリエラは、お父さんがボリビア人でお母さんが日本人の女の子。せいかが、ボリビアと日本のちがうところをおしえてくれます。〔幼児～〕

太陽と月になった兄弟 ボリビア民話

秋野鞆子／再話・絵 福音館書店

むかし、アンデスには太陽も月もありませんでした。すみきった空の下で、人々は平和にくらしていました。ところがある日、黒くもが空にかぶさり作物がかれはてます。太陽と月を信仰するボリビア・インディオに伝わるむかしばなし。〔小低～〕

